

やさかだより 2 No. 107

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com> 2025年(令和7年)2月1日



2月号外の記事

- 地域づくり協議会の活動から2
- 地域活動3
-4
- 公民館かるたもちつき大会6

1月11日(土)かるたもちつき大会が開催されました。
2020年以来5年ぶりにもちつきが復活し、午前中から公民館責任者と「八坂 食を楽しむ会」の皆さんで準備を行っていただきました。

八坂地区の人口: 689 人
(男351人・女338人)
八坂地区の世帯: 340 世帯
(令和7年1月1日現在)

各自治振興会では、わら細工講習会などの年末行事、どんど焼きなどの年始事業を行っておりますが、やさかだよりで紹介できるのは締め切りの関係で、毎年 3 月号になってしまいます。今年は各地区の年末年始の事業をタイムリーに紹介できるよう各地区の活動のみ 2 月号としてまとめてお届けすることにしました。

やさかだより編集委員長 松下 憲夫

地域づくり協議会の活動から

期日	区分	内容等
12/26	要望活動（会長）	・長野国道事務所、犀川砂防事務所への要望
1/9	男女共同参画会議	・令和6年度八坂地区男女共同参画の集いについて
1/14	やさかだより編集会議	・2月号の発行及び記事について
1/17	第3回八坂地域づくり協議会	・消防団、生活環境課、市民課からのお知らせ ・大田市交流促進センター明日香荘について ・鷹狩山展望施設の指定管理について ・盗難にあった熊よけ鐘について ・旧農協（倉庫）の解体について

12月26日、長野国道事務所信州新町出張所、犀川砂防事務所へ竹本会長が要望活動を行いました。

長野国道事務所信州新町出張所
並木輝夫出張所長



犀川砂防事務所
小林至砂防課長



12月26日（木）長野国道事務所信州新町出張所、犀川砂防事務所に対し、要望活動を行いました。
長野国道事務所信州新町出張所では、国道19号の改良等について、犀川砂防事務所では、砂防施設の改良や維持修繕箇所をまとめた要望書を、それぞれ手渡しました。

年末年始の各地域の行事から

大平自治振興会

大平自治振興会 金子 しげみ



大平自治振興会では12月15日（日）、ふるさと体験館にて、しめ縄・そば打ち・おやき作りの講習会が行われました。

そば打ちは北澤千代司さん、おやき作りは松島年子さんを講師にお迎えし、しめ縄は熟練の方々から教えて頂きながら、おやすをはじめそれぞれの力作が完成しました。伝統文化の継承を目的とした会ではありませんが、講習会後には、講習会で作ったそばとおやきを参加者全員で頂き、大人も子どもも楽しい一日となりました。



相川地区では1月11日（土）、どんど焼きと新年会が行われました。どんど焼きは、準備しておいた茅と当日切り出した青竹で、朝のうちに組み上げました。昼過ぎから集会所で新年会。日の沈んだ18時に点火しました。今年は風もなく、炎が真っ直ぐ天に向かって燃え盛り、「本当にいいどんど焼きだった」との声しきりでした。

相川ではどんど焼きから少し離れたところにもうひとつ火を焚いて餅を焼き、お喋りをしながらどんど焼きを見守ります。餅は各家に持ち帰り家族と食べました。地区の年中行事が大切に守られていること、そして深夜や翌朝に残り火を確認してくださる方の姿に、感謝の思いを新たにしました。どんど焼きでした。

12月15日(日)にわら細工講習会と非常食の試食会を開催しました。わら細工講習会は年末の恒例行事となっており、当日は基幹センターの玄関に飾る門松づくりと施設の大掃除、豚汁づくりも併せて行ったので、盛りだくさんの内容を手分けして行いました。わら細工の講師には石原スマイルクラブのベテランおじいちゃんをお願いし、おやすや、しめ飾りなどをつくりました。そして、お昼はアルファ米を使った非常食と豚汁を食べました。非常食はお湯を入れて15分経つとホカホカご飯になるもので、いろいろな味付けのご飯をみんなで食べましたが、とても好評でした。

少子高齢化で会員数が年々減少している石原地区ですが、今後も知恵と「ずく」を出し合い、活動を続けていければと思います。



切久保自治振興会 立花 康一

切久保自治振興会 ふれあい学級、どんど焼き



ふれあい学級
12月15日(日)に切久保公民館でわら細工教室と救急救命講習を開催しました。しめ縄づくりでは山留生も多く参加して大賑わい。ベテランの方々からご指導いただき、それぞれ立派に、はたまた独創的な作品も出来たことでしょう。次に北アルプス広域消防職員の方から人工呼吸法やAEDの使い方などの講習を受けました。会員のみなさんからも多くの質問も出て、とても有意義な場になったと思います。その後、臨時総会にて役員の選出および懇親会と続き、新体制で新たな年を迎える準備が出来、様々なことがあったこの1年も締めくくることが出来ました。

最後に、勝野明盛さんは切久保自治振興会会長の任期中にご逝去されました。これまでも数々の要職をなされておられ、そのご尽力に感謝します。また明るい人柄は人望厚く、ご家族と共に地区にとっても大事な方を亡くしてしまつたと大変悲しく思っています。今まで



大変お世話になりました。ご冥福をお祈りします。

切久保どんど焼き

グラウンド脇の広場で毎年どんど焼きをやっています。今年は1月12日(日)、子供たちが各家庭からしめ縄や松飾り、だるまなどを回収して集め、保護者と地元有志の協力者と共に竹と力ヤを使って組み上げました。12時に点火。炎はまたたく間にやぐらを包み、火柱となつて天に駆け上がりまふ。時折響く「パンッパン」という竹の弾ける乾いた音がちよつと気持ちをワクワクさせます。熾火になった頃にはお手製餅焼き網で餅を炙る人、ふるまいの豚汁をすすめる人、それぞれに気持ちよく晴れた冬の日を楽しみました。



令和7年1月11日(土)
中央自治振興会ではど
んど焼きと新年会が開催
されました。
新年会ではビンゴ大会
もあり大いに盛り上が
りました。「今年はより良
い年になるね」と参加者
の皆さん楽しい時間を過
ごせました。

野平自治振興会 寺島長二

野平自治振興会 料理交流会・どんど焼き わら細工講習会・大掃除

12月15日(日)野平自治振興会は、わら細工講習会、料理交流会、生活改善センターの大掃除を行いました。
料理交流会は女性部の方たちには早くから準備をしていただき、慰労会を兼ねたお昼の用意を進めていただきました。男性役員の方たちはその間少しずつ大掃除を進めていきました。窓ふきなど大体終わったところで慰労会を兼ねた昼食に参加された方と共においしくいただきました。その後お子さんたちの協力もあり、無事大掃除も終わりました。



1月5日(日)野平自治振興会でどんど焼きを行いました。午後5時に年男の富山剛仁さん、吉田友佑君、眞鍋土丸君の3人に火をつけてもらいました。
おき火になるのを待って各々が用意したお餅を焼き、無病息災を祈りました。
また、当日は寒い中防火に努めていただいた消防団の皆さんありがとうございました。お陰様で火事の心配をすることがなくどんど焼きができました。





舟場自治振興会では、12月15日(日)午後2時よりわら細工と生け花の講習会を開催しました。講師に袖山由紀子先生にお願いし、8名の参加者はそれぞれお正月を飾る見事な生け花ができました。また、わら細工には10名が取り組み、皆さんで教えあいながら楽しく進めることができました。

お正月を迎え、上籠地区では、1月5日(日)にはどんど焼きを行いました。

皆さん都合があり、8名ほどしか集まらなかったのですが、午前中に準備を行い、午後4時に点火しました。

八坂公民館～かるたもちつき大会



八坂地区子ども会育成協議会と公民館が主催する新春恒例の「かるたもちつき大会」を1月11日(土)に八坂小中学校そよかぜ校舎で開催しました。もちつきはコロナ禍で5年間休止していましたが、今回久々に復活し12kgのもち米を4回に分けてつきました。初めて杵と臼でもちつきをする児童もたくさんいましたが、役員等に指導していただきながらおいしいもちをつくことができました。

つき上がったもちを食を楽しむ会のみなさんに教わりながら、きな粉や擦りゴマ、雑煮にして、全員で食べました。「つきたてのおもちは柔らかくてとてもおいしい」と言って、大勢の子どもがおかわりをしていました。



午後のかるた大会は保育園、1～2年生、3～4年生、5～6年生の各部に分かれて、八坂郷土かるたと大町民話かるたを交互に使い、合計4回行いました。みんな真剣な眼差しでかるたを囲み「ハイ！」と大きな声でかるたを取っていました。

45年前に始まった伝統あるかるた・もちつき大会を、今後も地域や学校と協力しながら続け、子どもたちにふるさとの良さを伝えていきたいと思えます。